

5. 取付管、接続柵

取付管・接続樹設計基準

取付け管

取付け管は、次の各項を考慮して定める。

(1) 材質及び配置

1) 材質

材質は、鉄筋コンクリート管、硬質塩化ビニル管又はこれと同等以上の強度及び耐久性のあるものを使用する。

2) 平面配置

①布設方向は、本管に対して直角、かつ、直線的に布設する。

②本管の取付け部は、本管に対して最上流スパンは60度、その他は90度支管を使用する。ただし、浅埋支管を採用する場合には、最上流スパンであっても90度支管とする。

3) こう配及び取付け位置

こう配は1.0%以上とし、位置は本管の中心線から上方に取付けるものとするが直上は避ける。

4) 管径

取付け管径は、100mmを標準とする。

(2) 取付け部の構造

・本管へ取付け管を接続する場合は支管を用いる。

・マンホールへ流入させる場合は、可とうジョイントを使用すること。

(3) 取付管の埋め戻し

・取付管布設後の埋め戻しの際には路面等の沈下の原因とならないよう、十分締固めを行うこと。

・特に取付管の周辺については念入りに埋戻しを行うこと。

接続樹

接続樹の位置、配置及び構造は、次の各項を考慮して定める。

(1) 位置及び配置

位置は、公道と民有地との境界線から樹中心まで1m以内を標準とする。

(2) 接続樹の種類

接続樹はφ200塩ビ樹を標準とする。

注意

1) 樹は、2タイプあるので現場状況により使い分けすること。

また、その他の樹を使用する場合は、協議の上使用すること。

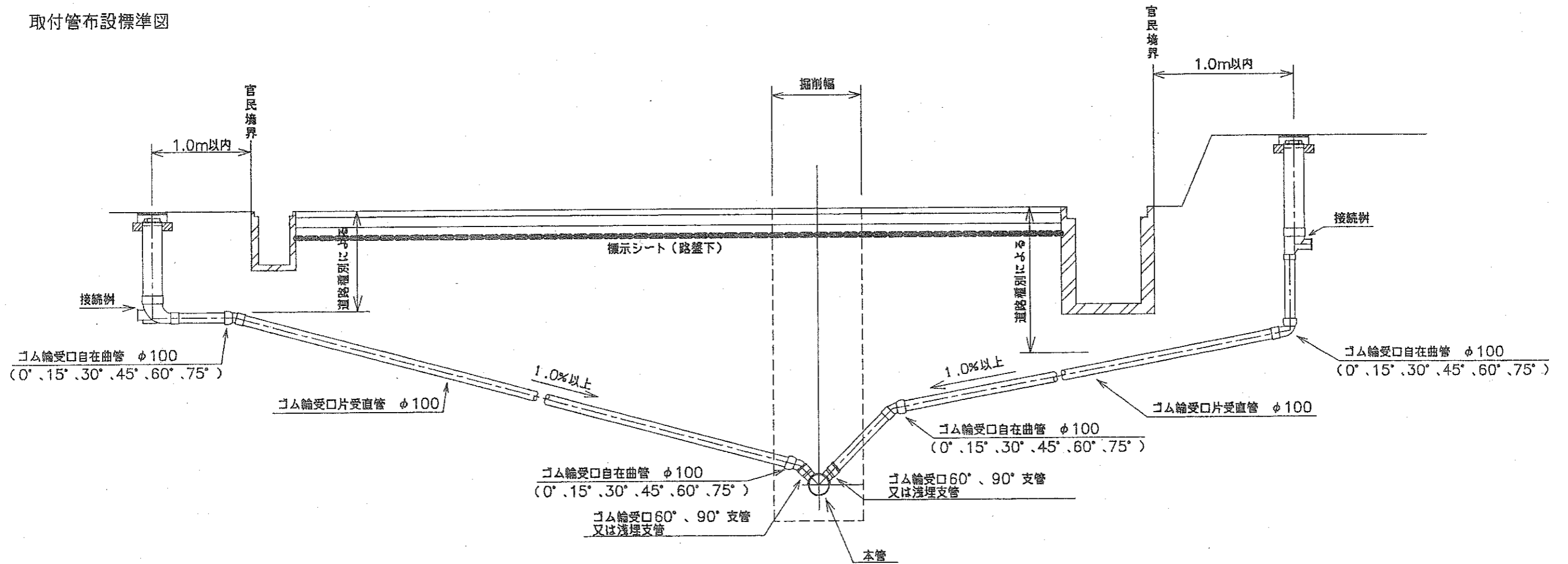
(別図参照)

2) 現場状況により塩ビ製φ300、0号組立式、1号組立式を使用すること。

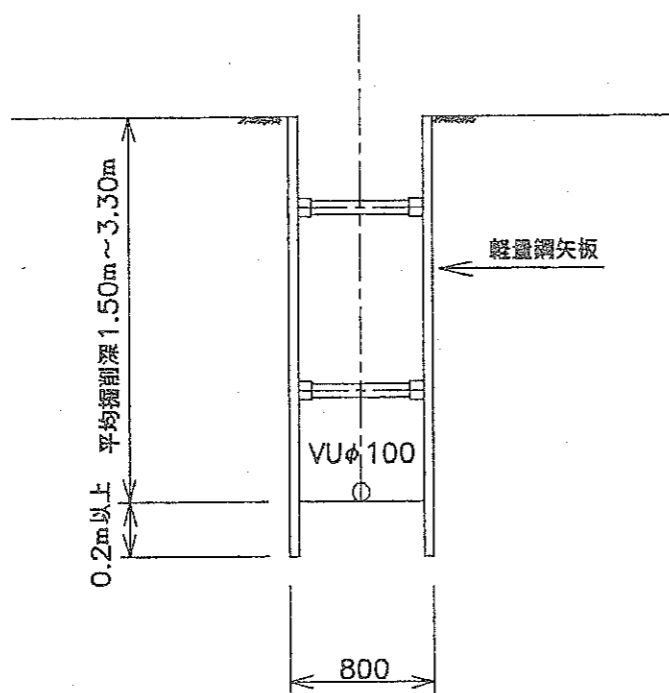
なお、インバート切りについては、排水設備業者が行う旨を接続樹設置同意書に記載して同意を得ること。

図 番	図 名
501	取付管・接続樹設計基準

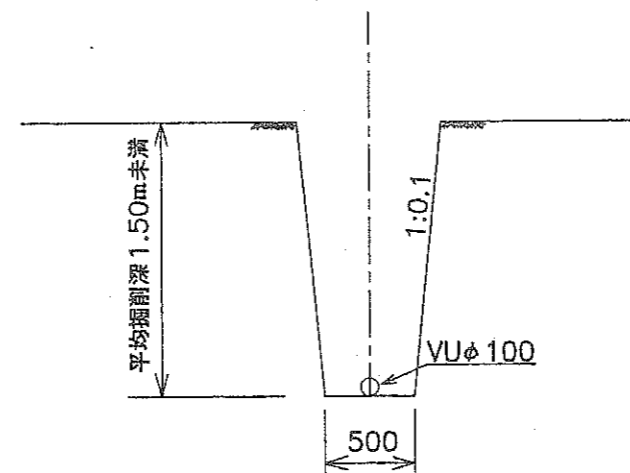
取付管布設標準図



取付管布設図
(掘削深1.5m以上)



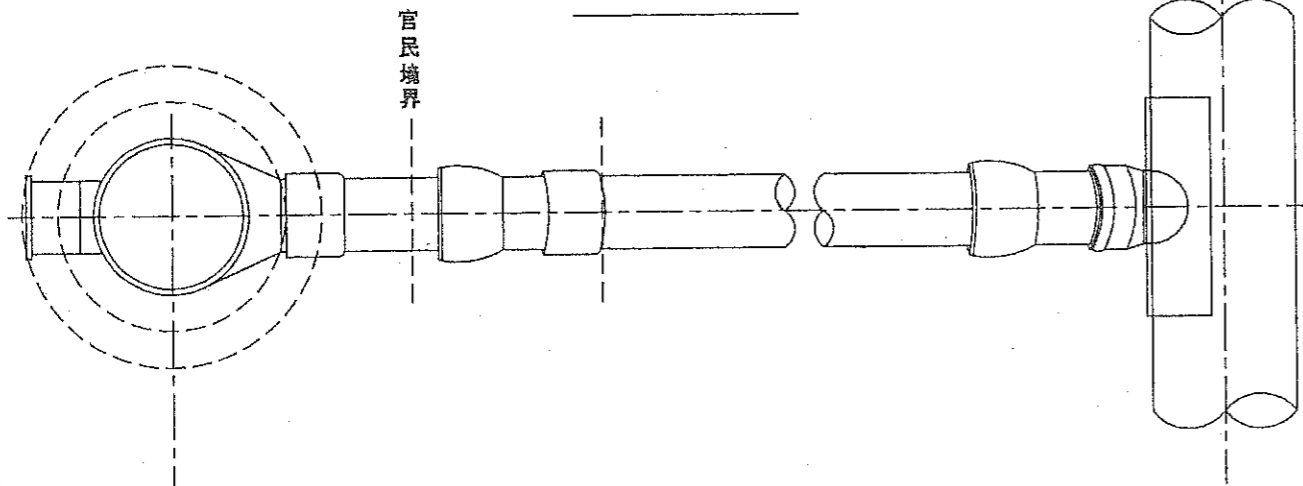
取付管布設図
(掘削深1.5m未満)



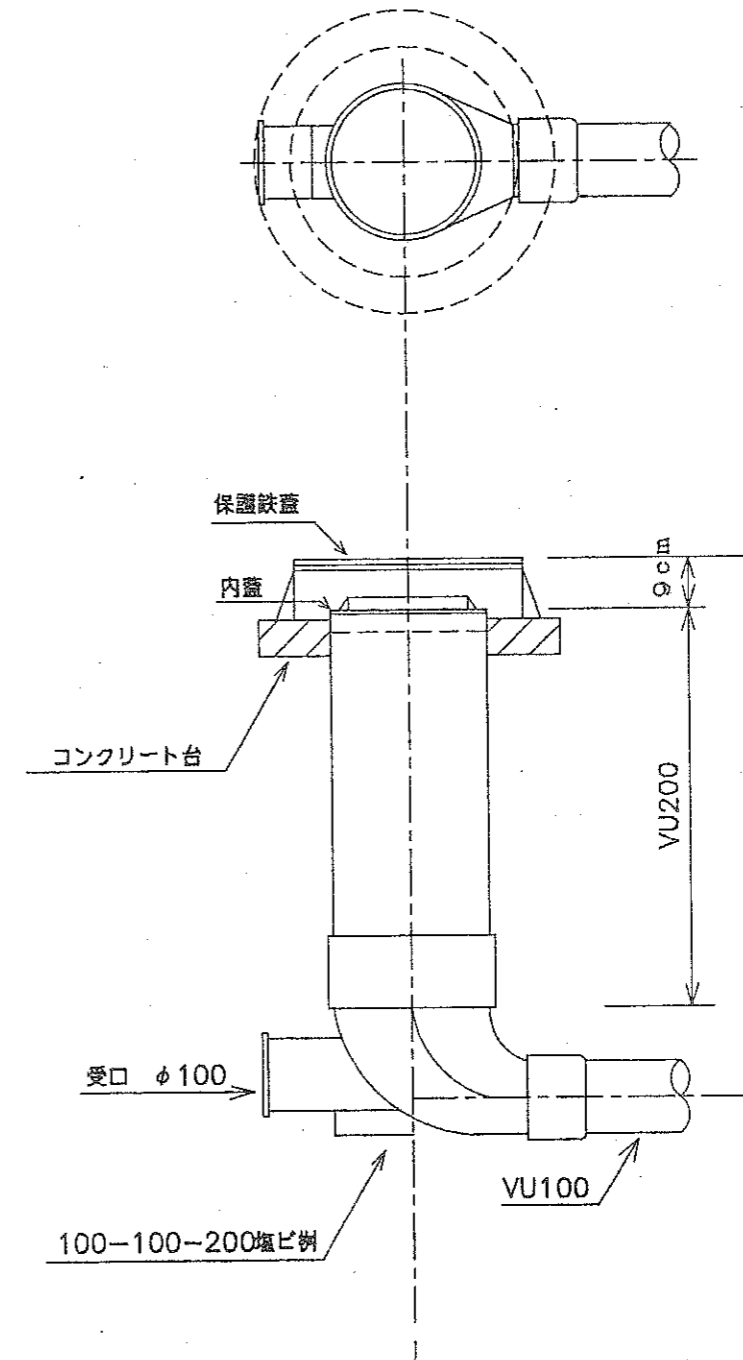
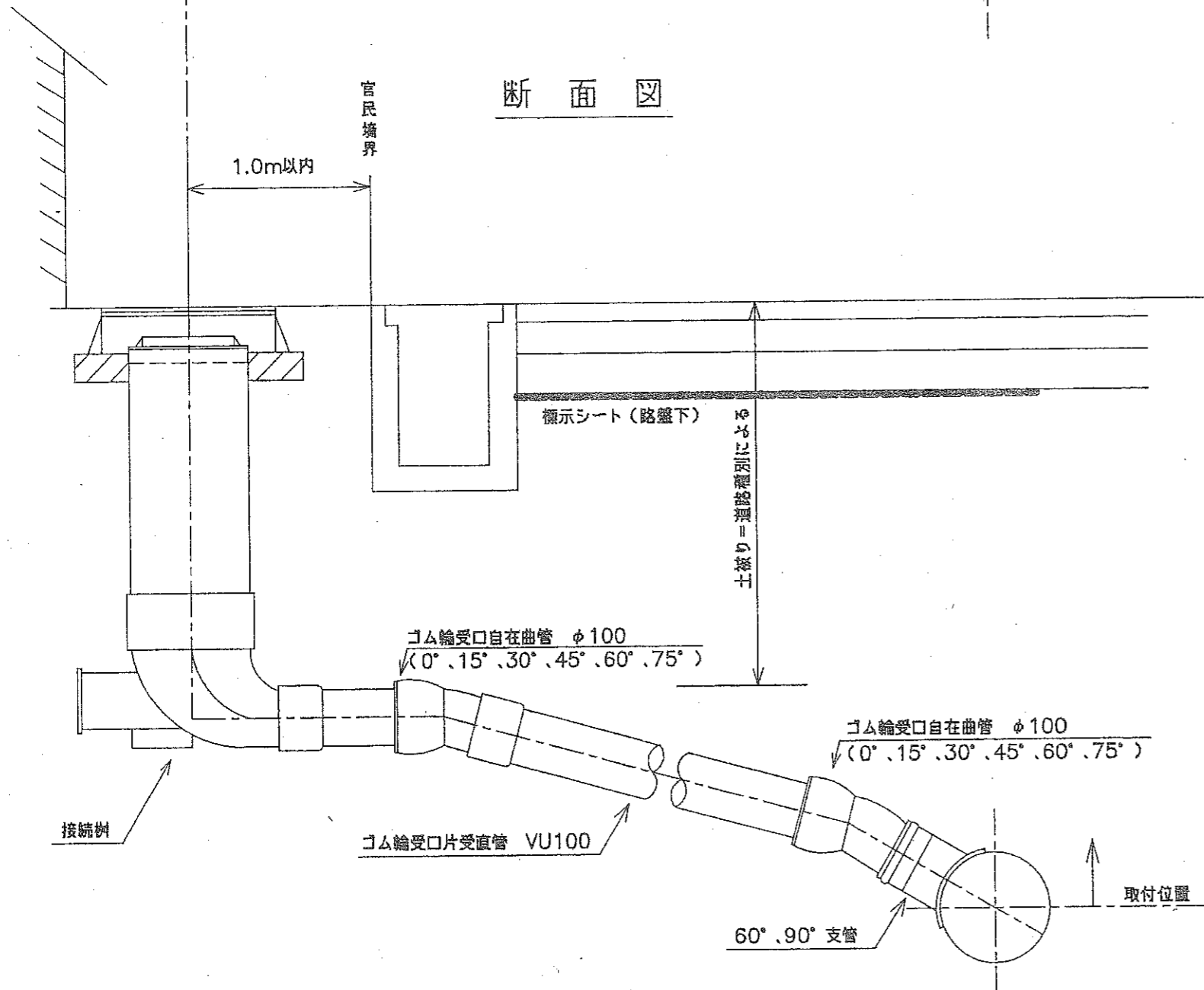
図番	図名
502	取付管布設標準図

接続樹構造図 (タイプ1)

平面図



断面図

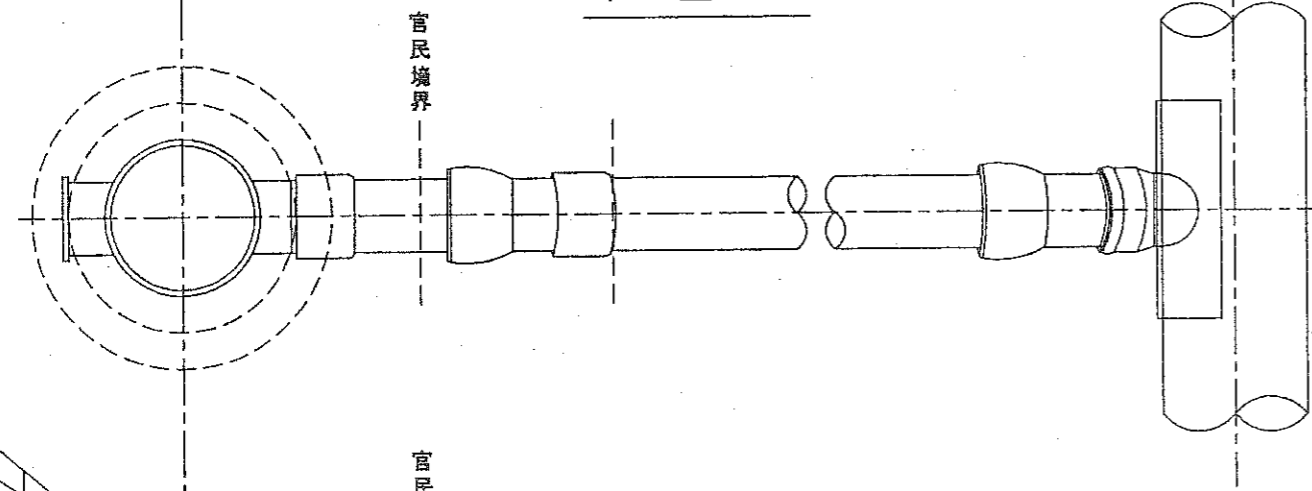


※管取付位置は半管より上で、直上は避ける。

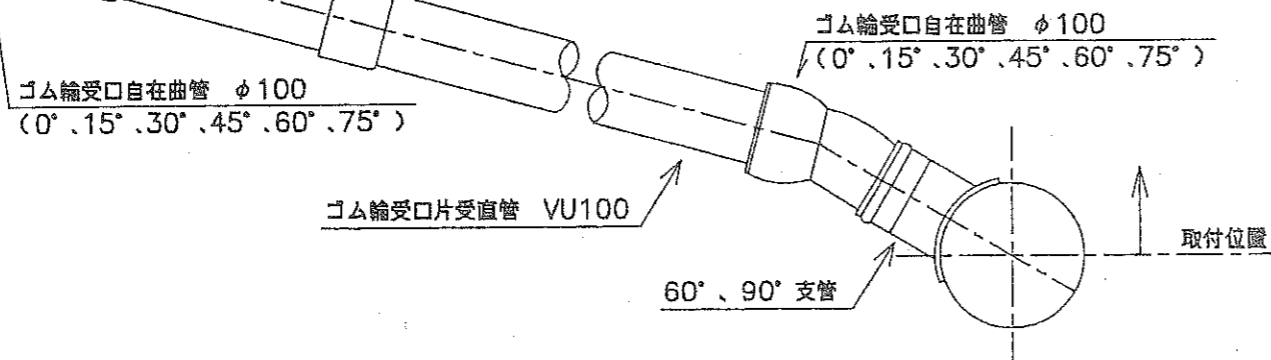
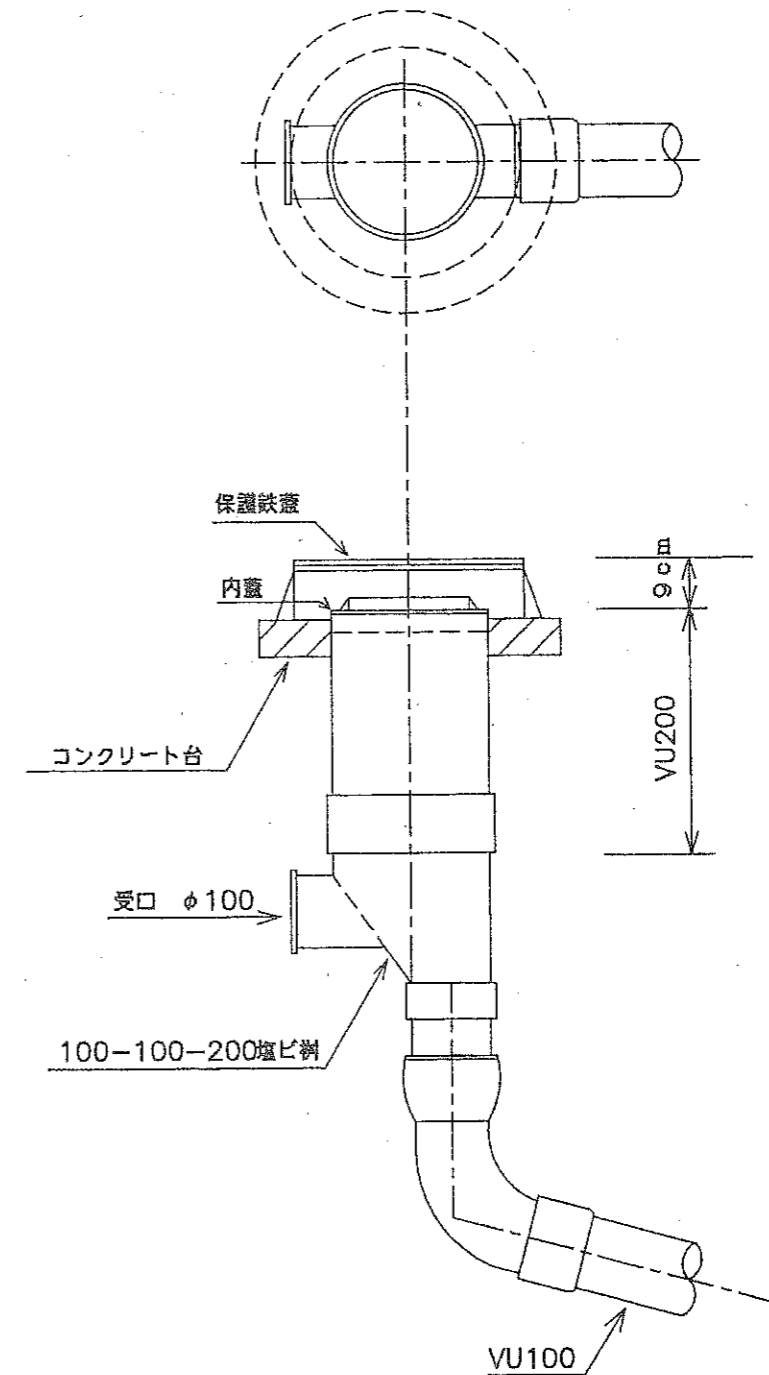
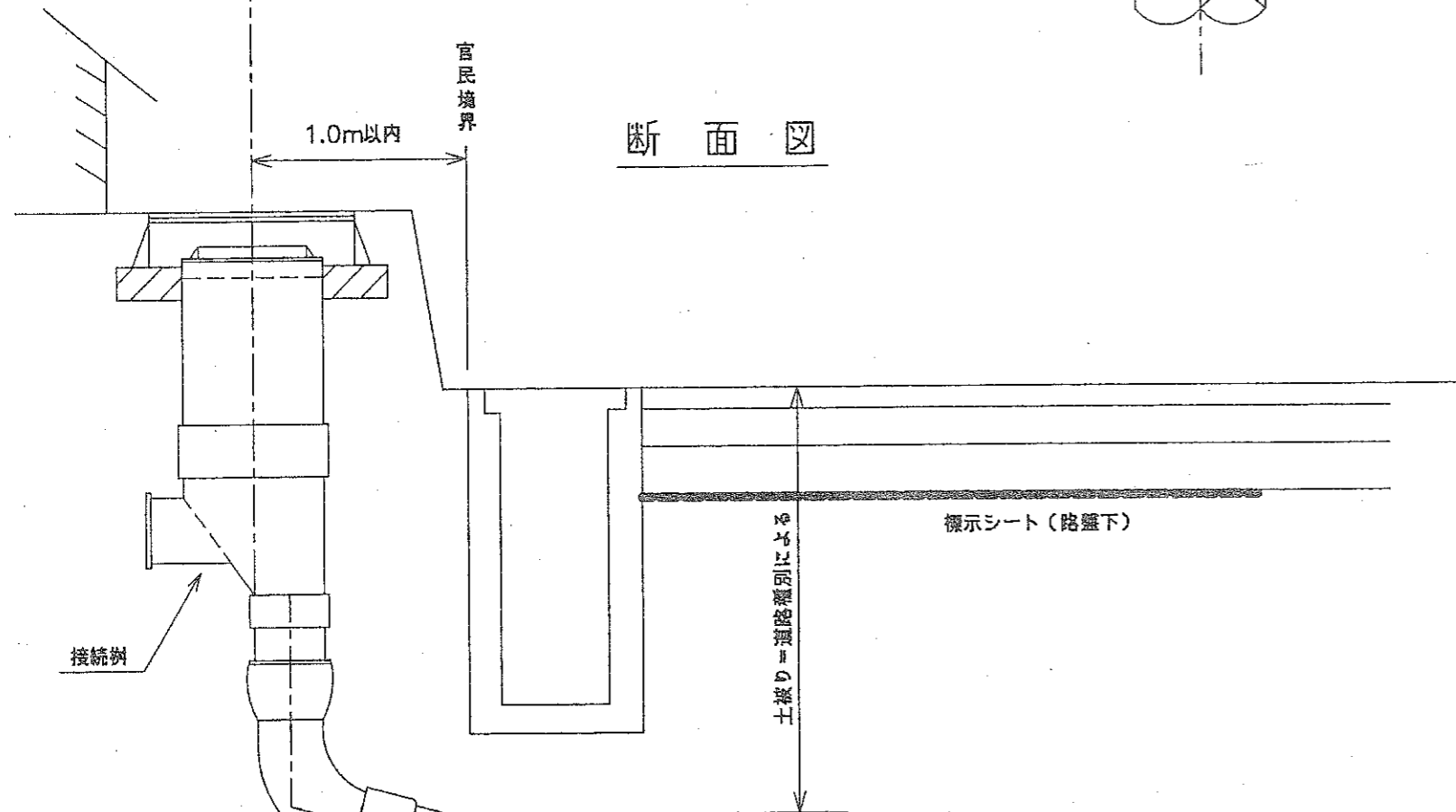
図番	図名
503	接続樹構造図 (タイプ1)

接続樹構造図 (タイプ2)

平面図



断面図



※管取り付け位置は半管より上で、直上は避ける。

図番	図名
504	接続樹構造図 (タイプ2)